

研究発表もうしこみフォーム

氏名：湊 邦生

氏名のローマ字表記：Minato, Kunio

所属：高知大学地域協働学部

専門分野：社会学

発表のタイトル：モンゴル国における国際社会調査の実施状況

発表要旨：

2000年代以降、モンゴル国（以下「モンゴル」）ではさまざまな国際社会調査が実施されるようになった。それらの中には全国規模で調査を実施し、さらに調査結果を個票分析が可能なデータとして提供しているものがある。世論調査や社会調査が未発達なモンゴルでは、これらのデータは非常に貴重なものであり、これらのデータを活用することで、現代モンゴル社会のあり方や、エスニシティ・地域・世代・ジェンダー等を特定しない「一般の」モンゴルの人々の意識や行動について、より確実な理解が可能となる。発表者もこれらのデータを利用し、その二次分析に基づいた研究を重ねてきたが、上記の可能性をさらに広げるためにも、あらためてこのような調査プログラムの存在意義や成果、さらには今後の可能性について、より多くの学会会員と共有し、理解を促す必要を感じているところである。

そこで、本発表ではモンゴルで現在も継続的に全国規模の調査を実施している国際調査プログラムを取り上げる。具体的には、モンゴル日本を含むアジア諸国で実施されている「アジアン・バロメータ調査」(Asian Barometer Survey)、旧ソ連・中東欧の旧社会主義諸国のほとんどで実施されている“Life in Transition Survey”、さらに第7回調査からモンゴルが新たに加わった「世界価値観調査」(World Values Survey)の3つに着目する。発表では、これらの調査の概要やモンゴルにおける実施状況を解説するとともに、これらの調査データを用いたモンゴル研究の可能性について報告する。(683字)